

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		三重県		市町村類型	Ⅳ－１		指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)	
							財政健全化等	×	歳入総額	104,912,107	102,719,267	実質収支比率	4.9	5.5			
市町村名	津市	地方交付税種地	1-5			財源超過	×	歳出総額	101,029,339	98,059,187	経常収支比率	90.8	87.4				
						首都	×	歳入歳出差引	3,882,768	4,660,080	(※1)	(98.2)	(98.2)				
						近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	670,619	972,238	標準財政規模	66,228,474	66,768,153				
							○	実質収支	3,212,149	3,687,842	財政力指数	0.74	0.76				
人口	22年国調(人)	285,746 <th colspan="2" rowspan="3">産業構造(※5)</th> <th rowspan="3"></th> <th>中部</th> <th>○</th> <th>単年度収支</th> <td>-475,693</td> <td>2,433,926</td> <th>公債費負担比率</th> <td>15.4</td> <td>15.8</td>	産業構造(※5)			中部	○	単年度収支	-475,693	2,433,926	公債費負担比率	15.4	15.8				
	17年国調(人)	288,538 <th>過疎</th> <th>○</th> <th>積立金</th> <td>1,899,999</td> <td>722,126</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	○	積立金	1,899,999	722,126	健全化判断比率						
	増減率(%)	-1.0 <th>山振</th> <th>○</th> <th>繰上償還金</th> <td>69,038</td> <td>105,312</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	○	繰上償還金	69,038	105,312	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	279,813 <th rowspan="2">第1次</th> <th>3,793</th> <td>5,535</td> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>78,841</td> <td>-</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	第1次	3,793	5,535	低開発	×	積立金取崩し額	78,841	-	連結実質赤字比率	-	-				
	23.03.31(人)	280,887 <th>3.0</th> <td>4.0</td> <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>1,414,503</td> <td>3,261,364</td> <th>実質公債費比率</th> <td>10.9</td> <td>12.2</td>		3.0	4.0	指数表選定	○	実質単年度収支	1,414,503	3,261,364	実質公債費比率	10.9	12.2				
	増減率(%)	-0.4 <th rowspan="2">第2次</th> <th>34,770</th> <td>39,099<th></th><th></th><th>基準財政収入額</th><td>33,331,827</td><td>32,208,919</td><th>将来負担比率</th><td>51.5</td><td>88.3</td></td>	第2次	34,770	39,099 <th></th> <th></th> <th>基準財政収入額</th> <td>33,331,827</td> <td>32,208,919</td> <th>将来負担比率</th> <td>51.5</td> <td>88.3</td>			基準財政収入額	33,331,827	32,208,919	将来負担比率	51.5	88.3				
面積(k㎡)	710.81 <th>27.3</th> <td>28.1<th></th><th></th><th>基準財政需要額</th><td>44,754,057</td><td>45,021,565</td><th colspan="3" rowspan="4">資金不足比率(※4)</th></td>			27.3	28.1 <th></th> <th></th> <th>基準財政需要額</th> <td>44,754,057</td> <td>45,021,565</td> <th colspan="3" rowspan="4">資金不足比率(※4)</th>			基準財政需要額	44,754,057	45,021,565	資金不足比率(※4)						
人口密度(人/㎡)	402 <th rowspan="2">第3次</th> <th>88,994</th> <td>92,073<th></th><th></th><th>標準税収入額等</th><td>43,018,734</td><td>41,583,924</td></td>		第3次	88,994	92,073 <th></th> <th></th> <th>標準税収入額等</th> <td>43,018,734</td> <td>41,583,924</td>			標準税収入額等	43,018,734	41,583,924							
世帯数(世帯)	113,092 <th>69.8</th> <td>66.3<th></th><th></th><th>経常経費充当一般財源等</th><td>61,663,117</td><td>60,764,384</td></td>			69.8	66.3 <th></th> <th></th> <th>経常経費充当一般財源等</th> <td>61,663,117</td> <td>60,764,384</td>			経常経費充当一般財源等	61,663,117	60,764,384							
職員の状況								歳入一般財源等	77,515,602	76,947,368							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	93,780,358	96,553,516						
	市区町村長	1	10,170		一般職員	2,123	6,774,493	3,191	うち公的資金	74,950,420	75,979,044						
	副市区町村長	2	8,091		うち消防職員	342	1,030,446	3,013	債務負担行為額(支出予定額)	6,851,442	5,683,258						
	教育長	1	7,030		うち技能労務職員	314	963,980	3,070	収益事業収入	-	-						
	議会議長	1	6,700		教育公務員	202	748,300	3,704	土地開発基金現在高	-	-						
	議会副議長	1	6,100		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	16,733,367	14,912,209					
	議会議員	34	5,500		合計	2,325	7,522,793	3,236		減債基金	2,113,289	2,306,137					
					ラスバイレス指数(※6)	106.5		(98.4)		その他特定目的基金	7,527,713	8,145,343					
	一般会計等の一覧																
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(8)	農業共済事業会計	(12)	簡易水道事業特別会計	(16)	三重県市町職員退職手当組合(一般会計)	(26)	津市社会教育振興会						
(2)	土地区画整理事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(9)	水道事業会計	(13)	風力発電事業特別会計	(17)	三重県市町職員退職手当組合(特別会計)	(27)	津駅前都市開発						
(3)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(6)	後期高齢者医療事業特別会計	(10)	工業用水道事業会計	(14)	下水道事業特別会計	(18)	三重県市町職員退職手当組合(公平委員会特別会計)	(28)	伊勢湾ヘリポート						
		(7)	モーターボート競走事業特別会計	(11)	駐車場事業会計	(15)	農業集落排水事業特別会計	(19)	三重県自治会館(一般会計)	(29)	まちづくり津夢時風						
								(20)	三重県自治会館(共有デジタル地図特別会計)	(30)	津センターパレス						
								(21)	三重県自治会館(物品特別会計)	(31)	津サイエンスプラザ						
								(22)	三重県自治会館(公平委員会特別会計)	(32)	津市土地開発公社	○					
								(23)	三重県地方税管理回収機構	(33)	久居都市開発	○					
								(24)	三重県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(34)	青山高原保健休養地管理						
								(25)	三重県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(35)	美杉の家建設						

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）					歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
地方税	41,327,680	39.4	38,815,137	61.8	普通税	38,981,226	94.3	205,577		議会議費	688,240	0.7	—	688,240	
地方譲与税	1,158,649	1.1	1,158,649	1.8	法定普通税	38,981,226	94.3	205,577			551,576	12.8	11,266,162		
利子割交付金	158,893	0.2	158,893	0.3	市町村民税	19,309,016	46.7	205,577		総務費	33,099,671	32.8	615,905	16,564,540	
配当割交付金	88,530	0.1	88,530	0.1	個人均等割	410,252	1.0	—		民生費	8,515,614	8.4	683,328	6,886,475	
株式等譲渡所得割交付金	21,849	0.0	21,849	0.0	所得割	14,816,981	35.9	—		衛生費	487,970	0.5	606	42,149	
地方消費税交付金	2,763,091	2.6	2,763,091	4.4	法人均等割	852,500	2.1	—		労働費	2,627,788	2.6	1,254,686	2,175,878	
ゴルフ場利用税交付金	355,156	0.3	355,156	0.6	法人税割	17,422,074	42.2	205,577		農林水産業費	1,608,179	1.6	219,944	1,341,932	
特別地方消費税交付金	—	—	—	—	固定資産税	17,348,072	42.0	—		土工費	12,627,759	12.5	5,064,643	9,836,001	
自動車取得税交付金	324,511	0.3	324,511	0.5	うち純固定資産税	535,229	1.3	—		土木費	3,837,991	3.8	373,918	3,509,183	
軽油引取税交付金	—	—	—	—	軽自動車税	1,714,907	4.1	—		消防費	11,683,581	11.6	2,700,620	9,047,947	
地方特例交付金	503,079	0.5	503,079	0.8	市町村たばこ税	—	—	—		教育費	586,240	0.6	—	339,442	
児童手当及び子ども手当特例交付金	157,057	0.1	157,057	0.3	釐産税	—	—	—		災害復旧費	12,288,555	12.2	—	11,934,885	
減収補填特例交付金	346,022	0.3	346,022	0.6	特別土地保有税	—	—	—		公債費	—	—	—	—	
地方交付税	19,995,793	19.1	18,109,610	28.8	法定外普通税	—	—	—		諸支出費	—	—	—	—	
普通交付税	18,109,610	17.3	18,109,610	28.8	目的税	2,346,454	5.7	—		前年度繰上充用金	—	—	—	—	
特別交付税	1,886,080	1.8	—	—	法定目的税	2,346,454	5.7	—		歳出合計	101,029,339	100.0	11,465,226	73,632,834	
震災復興特別交付税	103	0.0	—	—	入湯税	39,488	0.1	—		性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
（一般財源計）	66,697,231	63.6	62,298,505	99.2	事業所税	—	—	—		義務的経費計	52,232,970	51.7	36,617,581	36,100,921	53.2
交通安全対策特別交付金	54,679	0.1	54,679	0.1	都市計画税	2,306,966	5.6	—			20,610,539	20.4	19,164,045	18,756,961	27.6
分担金・負担金	1,339,215	1.3	—	—	水利地益税等	—	—	—		人件費	14,582,145	14.4	13,203,863	—	—
使用料	2,550,148	2.4	252,583	0.4	法定外目的税	—	—	—		うち職員給	19,333,876	19.1	5,518,651	5,476,408	8.1
手数料	230,259	0.2	—	—	旧法による税	—	—	—		扶助費	12,288,555	12.2	11,934,885	11,867,552	17.5
国庫支出金	12,562,535	12.0	—	—	合計	41,327,680	100.0	205,577		公債費	12,288,555	12.2	11,934,885	11,867,552	17.5
国有提供交付金（特別区財調交付金）	51,633	0.0	51,633	0.1						元利償還金	10,827,158	10.7	10,491,848	10,424,515	15.4
都道府県支出金	6,042,140	5.8	—	—	区分	平成23年度	平成22年度			内 訳	1,461,397	1.4	1,443,037	1,443,037	2.1
財産収入	174,494	0.2	59,890	0.1	徴収率（現・計）	98.4	92.1	98.2	91.1	その他の経費	—	—	—	—	—
寄附金	6,481	0.0	—	—	合計	98.5	93.6	98.3	92.8	物件費	36,744,903	36.4	31,110,329	25,562,196	37.6
繰入金	942,230	0.9	—	—	市町村民税	98.1	90.0	97.9	88.8	維持補修費	16,697,161	16.5	13,290,671	11,719,348	17.3
繰越金	4,660,080	4.4	—	—	純固定資産税					補助費等	1,215,772	1.2	1,032,663	1,032,663	1.5
諸収入	1,546,982	1.5	89,847	0.1	公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況				補助費等	3,733,409	3.7	3,086,429	2,525,220	3.7
地方債	8,054,000	7.7	—	—	合計	13,155,110	実質収支	218,866		うち一部事務組合負担金	48,147	0.0	48,147	48,147	0.1
うち減収補填債（特例分）	—	—	—	—	下水道	5,105,000	再差引収支	101,666		繰出金	12,892,214	12.8	11,850,456	10,284,965	15.1
うち臨時財政対策債	5,100,100	4.9	—	—	簡易水道	396,537	加入世帯数（世帯）	41,594		積立金	1,948,347	1.9	1,850,110	—	—
歳入合計	104,912,107	100.0	62,807,137	100.0	上水道	183,762	被保険者数（人）	68,984		投資・出資金・貸付金	258,000	0.3	—	—	—
					その他	38,888	被保険者 1人当り	92		前年度繰上充用金	—	—	—	—	—
					国民健康保険	1,537,691	保険税（料）収入額	89		投資的経費計	12,051,466	11.9	5,904,924	—	—
					その他	5,893,232	保険給付費	270		うち人件費	856,038	0.8	856,038	—	—
										普通建設事業費	11,465,226	11.3	5,565,482	—	—
										うち補助	3,709,230	3.7	495,717	—	—
										うち単独	7,387,330	7.3	5,020,972	—	—
										災害復旧事業費	586,240	0.6	339,442	—	—
										失業対策事業費	—	—	—	—	—
										歳出合計	101,029,339	100.0	73,632,834	—	—

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	104,769	100,887	3,882	3,211	938	91,695	
2 土地区画整理事業特別会計	907	907	-	-	778	1,829	
3 住宅新築資金等貸付事業特別会計	127	127	0	0	5	257	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	105,021	101,138	3,883	3,212		93,780	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険事業特別会計	26,975	26,756	219	219	1,542	3	-	-	
2 介護保険事業特別会計	22,102	21,846	256	256	3,407	-	-	-	
3 後期高齢者医療事業特別会計	4,813	4,723	90	90	2,759	-	-	-	
4 モーターボート競走事業特別会計	34,220	34,146	74	74	44	3,042	-	-	
5 農業共済事業会計	225	224	1	271	79	-	-	-	- 法適用企業
6 水道事業会計	6,596	6,568	28	6,248	184	14,845	861	-	- 法適用企業
7 工業用水道事業会計	22	22	0	134	-	-	-	-	- 法適用企業
8 駐車場事業会計	277	142	134	114	-	304	-	-	- 法適用企業
9 簡易水道事業特別会計	924	908	16	1	398	3,724	2,875	-	- 法非適用企業
10 風力発電事業特別会計	82	82	0	0	46	67	12	-	- 法非適用企業
11 下水道事業特別会計	11,228	11,151	76	31	4,700	75,384	64,227	-	- 法非適用企業
12 農業集落排水事業特別会計	539	539	0	0	405	4,325	4,026	-	- 法非適用企業
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				7,438		101,695	72,002		

連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 三重県市町職員退職手当組合(一般会計)	6,538	6,412	127	127	660	-	-	
2 三重県市町職員退職手当組合(特別会計)	132	132	0	0	23	-	-	
3 三重県市町職員退職手当組合(公平委員会特別会計)	4	2	3	3	-	-	-	
4 三重県自治会館(一般会計)	241	236	5	5	3	-	-	
5 三重県自治会館(共有デジタル地図特別会計)	244	242	2	2	-	-	-	
6 三重県自治会館(物品特別会計)	8	4	4	4	-	-	-	
7 三重県自治会館(公平委員会特別会計)	3	0	3	3	-	-	-	
8 三重県地方税管理回収機構	297	164	133	133	-	-	-	
9 三重県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	172	165	6	6	10	-	-	
10 三重県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	172,717	172,509	208	208	1,225	-	-	
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				491		-	-	

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）																																						
区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	内訳		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比																										
準 元 利 償 還 金	元利償還金	12,627,471	12,442,307	12,219,517	21.5	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	96,966,042	96,553,517	93,780,359	164.9	債 務 負 担 行 為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-																										
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	3,411,742	3,001,291	2,531,985	4.5		いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-																										
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	74,111,716	72,001,460	72,002,274	126.6		国営土地改良事業に係るもの	1,109,634	820,801	550,757	1.0																										
	公営企業債の元利償還金に對する繰入金	4,397,860	4,289,130	4,491,071	7.9		組合等負担等見込額	-	-	-	-		森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-																										
	組合等が起こした地方債の元利償還金に對する負担金等	-	-	-	-		退職手当負担見込額	25,331,078	25,342,729	25,259,736	44.4		地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-																										
	債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	667,594	639,756	612,846	1.1		設立法人等の負債額等負担見込額	1,913,220	2,274,685	1,988,766	3.5		依頼土地の買い戻しに係るもの	996,051	1,139,106	982,222	1.7																										
	一時借入金の利息	203	90	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-		社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-																										
合計		(A)	17,693,128	17,371,283	17,323,434		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-																											
内訳		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	合計		(E)	201,733,798	199,173,682	195,563,100		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-																										
債 務 負 担 行 為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当可能基金	22,665,319	22,933,511	24,120,372	42.4	企 業 債 等 繰 入 見 込 額	下水道事業特別会計	66,017,049	64,330,899	64,227,487	112.9																										
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-		充当可能特定繰入	13,713,236	13,962,233	31,273,173	55.0		農業集落排水事業特別会計	4,606,422	4,394,856	4,026,384	7.1																										
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	502,916	483,090	463,921	0.8		基準財政需要額算入見込額	107,346,740	111,441,195	110,853,497	194.9		簡易水道事業特別会計	2,341,591	2,445,267	2,875,029	5.1																										
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計	(F)	143,725,295	148,336,939	166,247,042			水道事業会計	1,146,654	830,438	861,025	1.5																									
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		将来負担比率 $((E)-(F)) \div ((C)-(D)) \times 100$	103.8	88.3	51.5	-		その他の会計	-	-	12,349	0.0																										
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	<table><tr><th colspan="2">健全化判断比率</th><th>平成23年度</th><th>早期健全化基準</th><th>財政再生基準</th></tr><tr><td>実質赤字比率</td><td>-</td><td>11.25</td><td>20.00</td></tr><tr><td>連結実質赤字比率</td><td>-</td><td>16.25</td><td>30.00</td></tr><tr><td>実質公債費比率</td><td>10.9</td><td>25.0</td><td>35.0</td></tr><tr><td>将来負担比率</td><td>51.5</td><td>35.0</td><td>-</td></tr></table>						健全化判断比率		平成23年度	早期健全化基準	財政再生基準	実質赤字比率	-	11.25	20.00	連結実質赤字比率	-	16.25	30.00	実質公債費比率	10.9	25.0	35.0	将来負担比率	51.5	35.0	-	その他上に準ずるもの	162,754	155,999	148,457	0.3	公社・ 三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	健全化判断比率		平成23年度	早期健全化基準	財政再生基準																																						
	実質赤字比率	-	11.25	20.00																																							
	連結実質赤字比率	-	16.25	30.00																																							
	実質公債費比率	10.9	25.0	35.0																																							
将来負担比率	51.5	35.0	-																																								
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	土地開発公社に係る将来負担額	1,843,734	2,207,381	1,923,677	3.4																																		
その他上に準ずるもの	162,754	155,999	148,457	0.3	その他第三セクター等に係る将来負担額	69,486	67,304	65,089	0.1																																		
利子補給に係るもの	1,924	667	468	0.0																																							
特定財源の額	(B)	1,769,854	1,890,726	2,378,315																																							
標準財政規模	(C)	64,946,399	66,768,153	66,228,474																																							
算入公債費等の額	(D)	9,095,513	9,244,041	9,361,176																																							
	(C)-(D)	55,850,886	57,524,112	56,867,298																																							
実質公債費比率	(単年度)	12.2	10.8	9.8																																							
	$((A)-((B)+(D))) \div ((C)-(D)) \times 100$ (3カ年平均)	13.0	12.2	10.9																																							

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

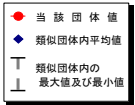
※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	279,813人	(H24.3.31現在)
面積	710.81km ²	
歳入総額	104,912,107千円	
歳出総額	101,029,339千円	
実質収支	3,212,149千円	
標準財政規模	66,228,474千円	
地方債現在高	93,780,358千円	

実質赤字比率	-	%
通算実質赤字比率	-	%
実質公債費比率	10.9	%
将来負担比率	51.5	%
市町村類型	H19Ⅳ-1H20Ⅳ-1H21Ⅳ-1	
(年度毎)	H22Ⅳ-1H23Ⅳ-1	



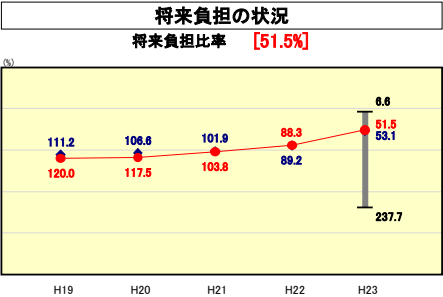
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

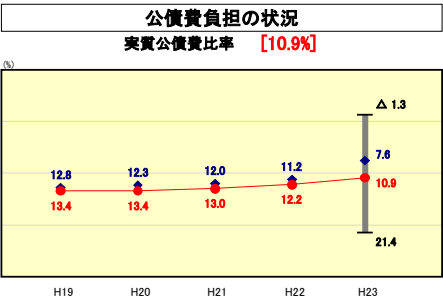
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 27/52 全国平均 69.2 三重県平均 55.1

将来負担比率の分析欄

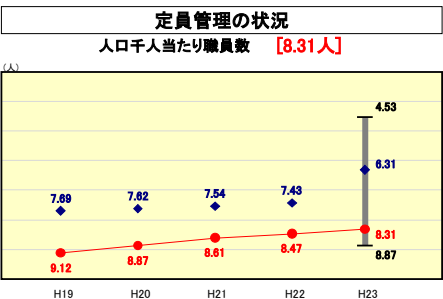
将来負担比率は51.5%と前年度と比較して36.8ポイント改善しています。地方債残高の減少や財政調整基金を中心とする充当可能基金残高の増加に努めてきたことや、平成23年度から一部の未課税地域への都市計画税課税を開始したなどが大きな要因です。



類似団体内順位 37/52 全国平均 8.9 三重県平均 10.6

実質公債費比率の分析欄

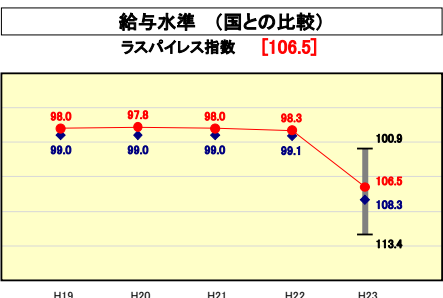
実質公債費比率は10.9%と前年度と比較して、1.3ポイント改善しています。地方債元利償還金の減少、一部の未課税地域への都市計画税課税開始や、有利な地方債の借入に伴う元利償還金に係る基準財政需要額算入額の増加などが主な要因です。



類似団体内順位 50/52 全国平均 7.17 三重県平均 7.87

人口千人当たり職員数の分析欄

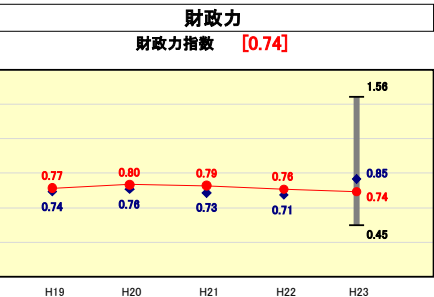
人口千人当たりの職員数は8.31人と前年度と比較して0.16ポイント改善しています。津市では合併以後、合併時の総職員の約2割削減を目標として定員管理の適正化に取り組んできたことが要因です。



類似団体内順位 10/52 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3

ラスパイレース指数の分析欄

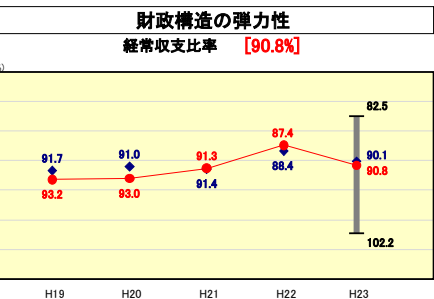
ラスパイレース指数は106.5と前年度と比較して8.2ポイント悪化しています。この要因は国家公務員の時限的な給与削減措置を加味した数値であり、津市の職員給与の増減の実態を表したものではありませんことに注意が必要です。時限的な削減措置がないとした場合の値は98.4となり、昨年度と同値となり、全国平均を下回っています。



類似団体内順位 37/52 全国平均 0.51 三重県平均 0.62

財政力指数の分析欄

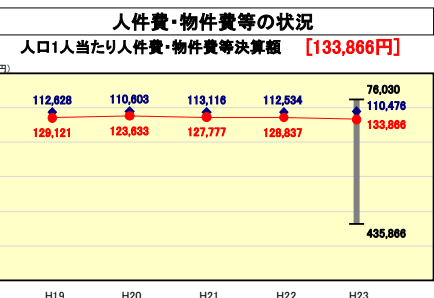
財政力指数は0.74と前年度と比較して0.02ポイント悪化しています。基準財政収入額は近年微減傾向にあるのに対し、基準財政需要額は概ね横ばいで推移しているため、3ヶ年平均で算出される財政力指数は少しずつ低下する傾向にあります。類似団体平均値(0.85)を下回っていることから、財政状況は厳しい状態にあります。



類似団体内順位 28/52 全国平均 90.3 三重県平均 87.9

経常収支比率の分析欄

経常収支比率は90.8%と前年度と比較して3.4ポイント悪化しています。一部の未課税地域への課税開始に伴う都市計画税や地方財政計画に基づく普通地方交付税の増があったものの、臨時財政対策債が大幅な減となり、比率の分母となる歳入経常一般財源が減少した一方、歳出については、人員の削減等、行財政改革の取組を進めたものの、民間活力の導入による委託業務の増加や社会保障関係経費の増などにより、トータルで歳出経常一般財源が増となりました。これらにより経常収支比率が悪化しています。



類似団体内順位 50/52 全国平均 119,477 三重県平均 123,940

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

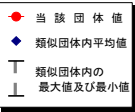
人口1人当たり人件費・物件費等決算額は、133,866円と前年度と比較して5,029円増加しています。概論としては人口が微減している状況で歳出が膨らんでいることによるものですが、人件費の増については地方公務員共済組合等負担金の増加で、物件費の増は民間活力の活用による委託の増加などによるものです。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

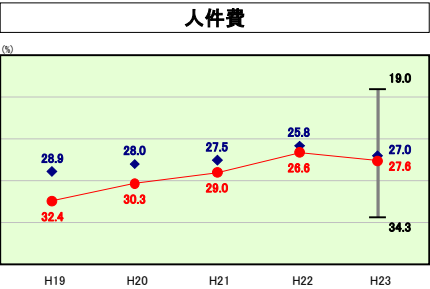
経常収支比率の分析

人面歳入総額	279,813千円	人口710.81千人	人(H24.3.31現在)
歳出総額	104,912,107千円		
歳入総額	101,029,339千円		
歳入総額	3,212,149千円		
標準財政規模	66,228,474千円		
地方債現在高	93,780,358千円		

実質赤字比率	- %	実質赤字比率	- %
実質公債費比率	10.9 %	実質公債費比率	10.9 %
将来負担比率	51.5 %	将来負担比率	51.5 %
市町村類型	H19 IV-1 H20 IV-1 H21 IV-1	市町村類型	H19 IV-1 H20 IV-1 H21 IV-1
(年度毎)	H22 IV-1 H23 IV-1	(年度毎)	H22 IV-1 H23 IV-1



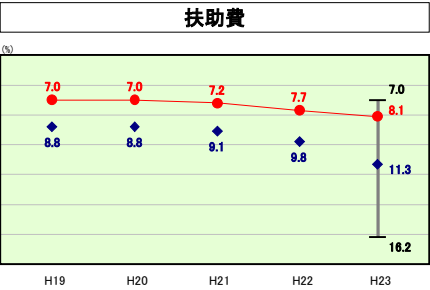
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 29/52 全国平均 25.4 三重県平均 25.0

人件費の分析欄

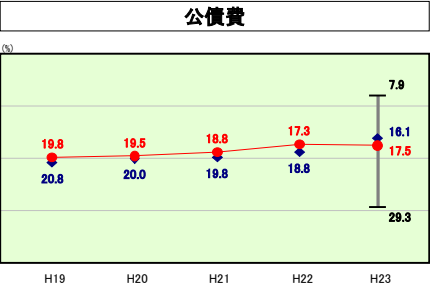
人件費の経常収支における比率は27.6%と前年度比1ポイント増加しています。定員管理の適正化に取り組んでいますが、地方公務員共済組合等負担金や災害補償費の増加が主な要因ですが、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少も要因です。



類似団体内順位 7/52 全国平均 10.5 三重県平均 7.7

扶助費の分析欄

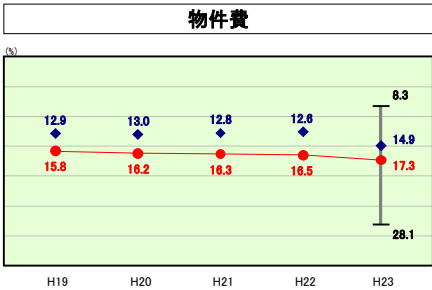
扶助費の経常収支における比率は8.1%と前年度比0.4ポイント増加しています。生活保護や障害者自立支援法関係事業など社会保障給付費の増加が要因ですが、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少も要因です。



類似団体内順位 35/52 全国平均 19.0 三重県平均 16.9

公債費の分析欄

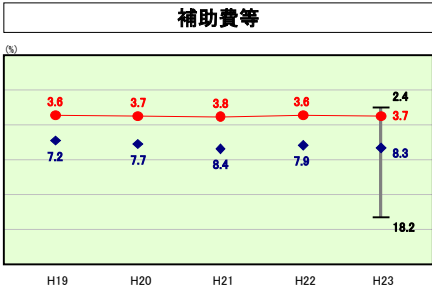
公債費の経常収支における比率は17.5%と前年度比0.2ポイント増加しています。元利償還金の額は減少しているものの、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少が増加の要因となっています。



類似団体内順位 42/52 全国平均 13.1 三重県平均 15.1

物件費の分析欄

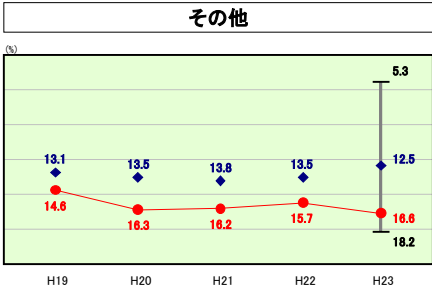
物件費の経常収支における比率は17.3%と前年度比0.8ポイント増加しています。臨時職員などの賃金、民間活力の活用に伴う委託料、施設の光熱水費などの需用費の増加や、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少も要因です。



類似団体内順位 9/52 全国平均 10.1 三重県平均 10.4

補助費等の分析欄

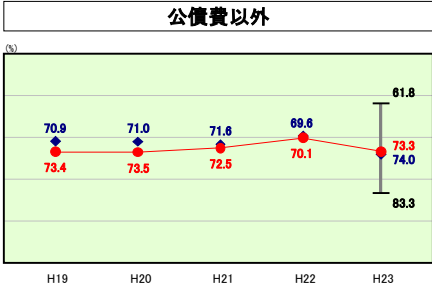
補助費等の経常収支における比率は3.7%と前年度比0.1ポイント増加しています。企業立地奨励金の減など、トータルでは減少しているものの、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少が増加の要因となっています。



類似団体内順位 48/52 全国平均 12.2 三重県平均 12.8

その他の分析欄

その他の経常収支における比率は16.6%と前年度比0.9ポイント増加しています。国民健康保険事業や下水道事業など特別会計への繰出し金が減少するなど、トータルでは減少しているものの、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少が増加の主な要因となっています。



類似団体内順位 22/52 全国平均 71.3 三重県平均 71.0

公債費以外の分析欄

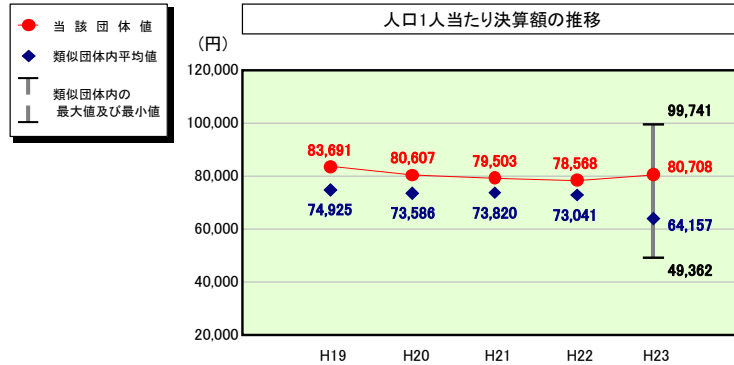
公債費以外の経常収支における比率は74%と前年度比3.9ポイント増加しています。財政調整基金への積立金の大幅な増加をはじめ、人件費や物件費、扶助費など割合の大きい区分で比率が上昇しており、当該比率を押し上げています。また、収支比率の分母である歳入経常一般財源の減少も要因です。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

三重県津市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



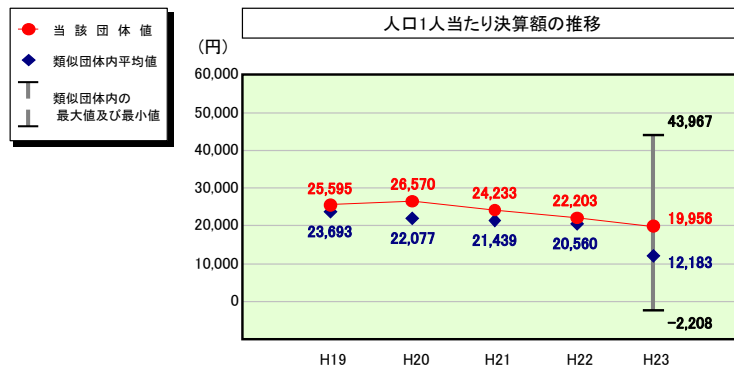
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	20,610,539	73,658	61,658	19.5
賃金 (物件費)	2,208,261	7,892	3,520	124.2
一部事務組合負担金 (補助費等)	6,632	24	1,858	▲ 98.7
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	79,474	284	761	▲ 62.7
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	744,320	2,660	2,354	13.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	856,038	3,059	1,206	153.6
▲退職金	▲ 1,922,146	▲ 6,869	▲ 7,200	▲ 4.6
合計	22,583,118	80,708	64,157	25.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.31	6.31	2.00
ラスパイレス指数	106.5	108.3	▲ 1.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

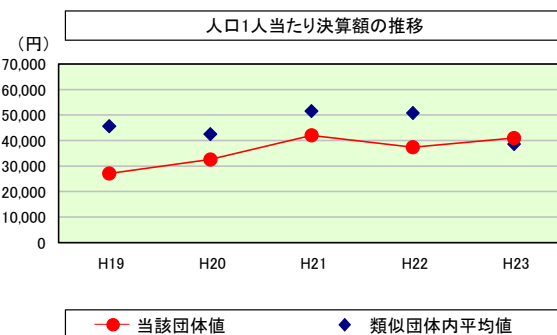


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	12,219,517	43,670	34,173	27.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	43	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,491,071	16,050	9,123	75.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,231	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	612,846	2,190	1,805	21.3
一時借入金金利 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 2,378,315	▲ 8,500	▲ 7,902	7.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 9,361,176	▲ 33,455	▲ 26,295	27.2
合計	5,583,943	19,956	12,183	63.8

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

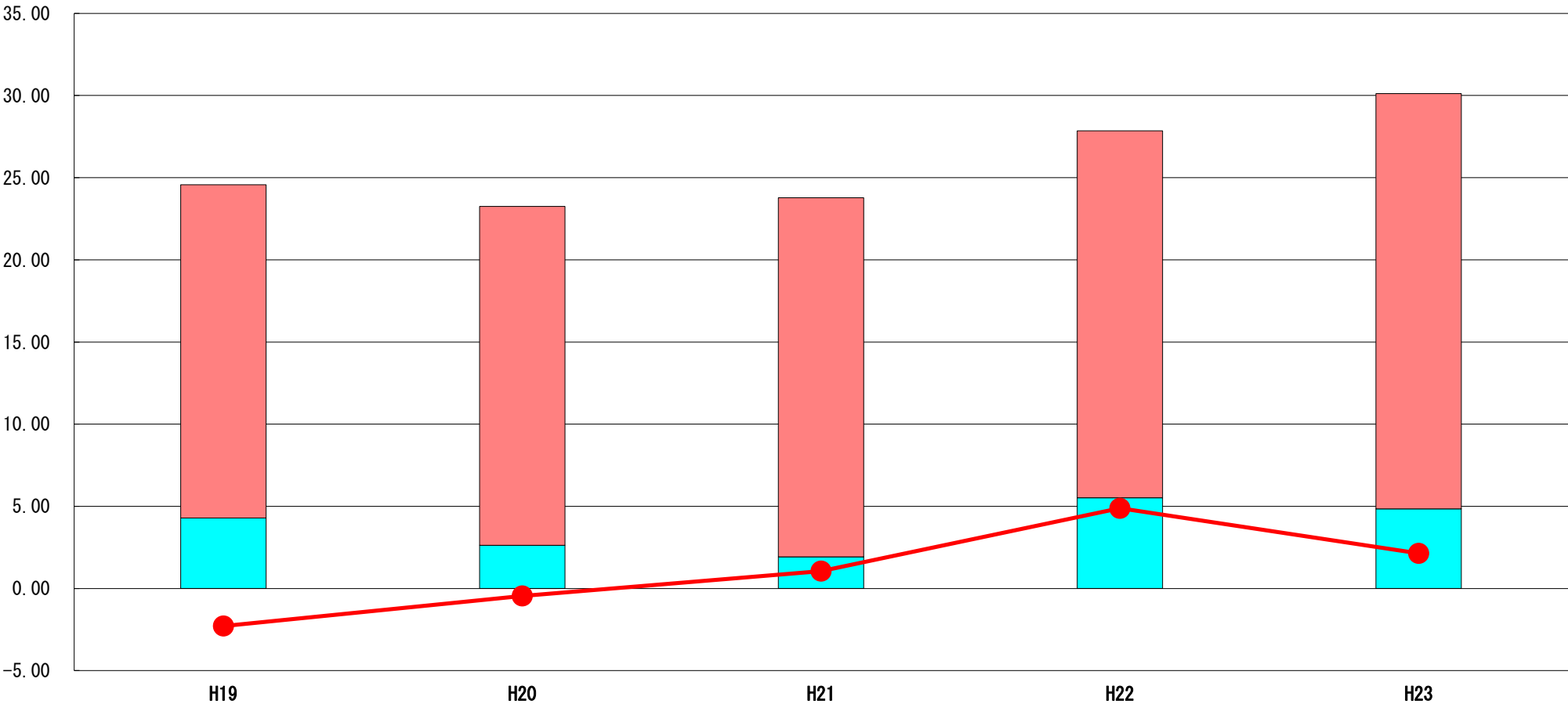
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H19	7,671,327	27,089	▲ 13.7	45,614	▲ 1.0	▲ 12.7
うち単独分	6,092,525	21,514	7.4	28,729	▲ 1.4	6.0
H20	9,203,738	32,572	20.2	42,470	▲ 6.9	27.1
うち単独分	7,343,038	25,987	20.8	26,888	▲ 6.4	27.2
H21	11,849,455	42,055	29.1	51,540	21.4	7.7
うち単独分	9,549,988	33,894	30.4	32,621	21.3	9.1
H22	10,502,215	37,389	▲ 11.1	50,804	▲ 1.4	▲ 9.7
うち単独分	7,679,682	27,341	▲ 19.3	30,480	▲ 6.6	▲ 12.7
H23	11,465,226	40,975	9.6	38,606	▲ 24.0	33.6
うち単独分	7,387,330	26,401	▲ 3.4	22,435	▲ 26.4	23.0
過去5年間平均	10,138,392	36,016	6.8	45,807	▲ 2.4	9.2
うち単独分	7,610,513	27,027	7.2	28,231	▲ 3.3	10.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成23年度

三重県津市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H19	H20	H21	H22	H23
区分	財政調整基金残高	20.28	20.62	21.85	22.33	25.27
	実質収支額	4.29	2.63	1.93	5.52	4.85
	実質単年度収支	▲ 2.28	▲ 0.45	1.06	4.88	2.14

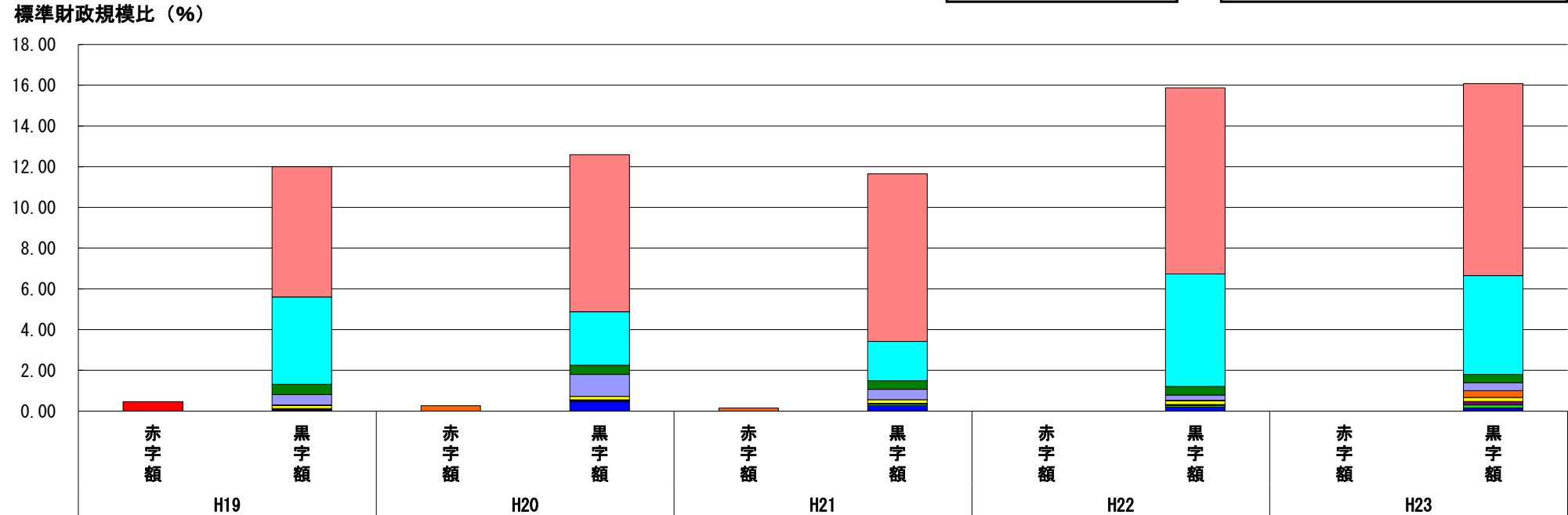
分析欄

財政調整基金については、毎年着実に積み上げてきていることから、平成23年度末残高においては標準財政規模比で25%を超える高水準を確保しています。実質収支は安定して黒字を確保してきており、今後も黒字を確保しつつ財政調整基金の水準を維持できるよう努めます。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

三重県津市



年度		H19	H20	H21	H22	H23
会計						
水道事業会計		6.40	7.71	8.23	9.14	9.43
一般会計		4.29	2.63	1.93	5.52	4.85
農業共済事業会計		0.50	0.45	0.42	0.42	0.41
介護保険事業特別会計		0.51	1.08	0.51	0.26	0.39
国民健康保険事業特別会計		0.02	▲ 0.26	▲ 0.15	0.02	0.33
工業用水道事業会計		0.16	0.17	0.18	0.19	0.20
駐車場事業会計		0.06	0.04	0.02	0.06	0.17
後期高齢者医療事業特別会計		-	0.04	0.08	0.07	0.14
その他会計（赤字）		▲ 0.46	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.06	0.47	0.28	0.19	0.16

分析欄

平成23年度の津市の一般会計と特別会計で赤字となった会計はなく、近年の状況からも市全体として安定して黒字を計上しています。

黒字となる主な要因については、水道事業会計において将来の更新投資に備えた現預金水準が高いこと（貸借対照表上約61億円）、一般会計において実質収支額が安定して十億円台から三十億円台で推移しているためです。

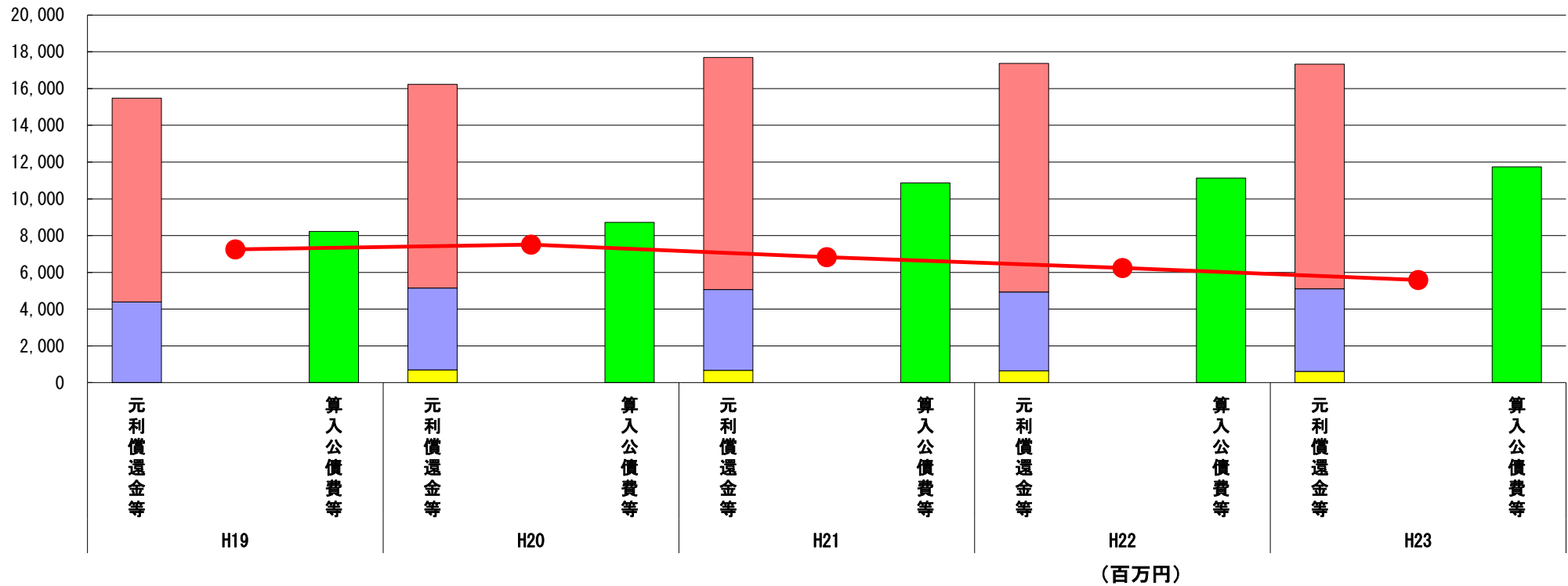
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県津市

（百万円）



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		11,086	11,079	12,627	12,442	12,220
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		4,389	4,459	4,398	4,289	4,491
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		2	692	668	640	613
	一時借入金の利子		-	-	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		8,228	8,721	10,866	11,135	11,740
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		7,249	7,509	6,827	6,236	5,584

分析欄
津市では地方債残高の削減に努めていることから、分子の主要構成要素である元利償還金も着実に減少してきています。また、交付税算入率の高い臨時財政対策債、合併特例債などの残高が地方債全体の残高に占める割合が高まっていることに伴い、分子から控除する算入公債費等が毎年増加しています。
これらの結果、元利償還金等から算入公債費等を差し引いた実質公債費比率の分子は着実に減少しています。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

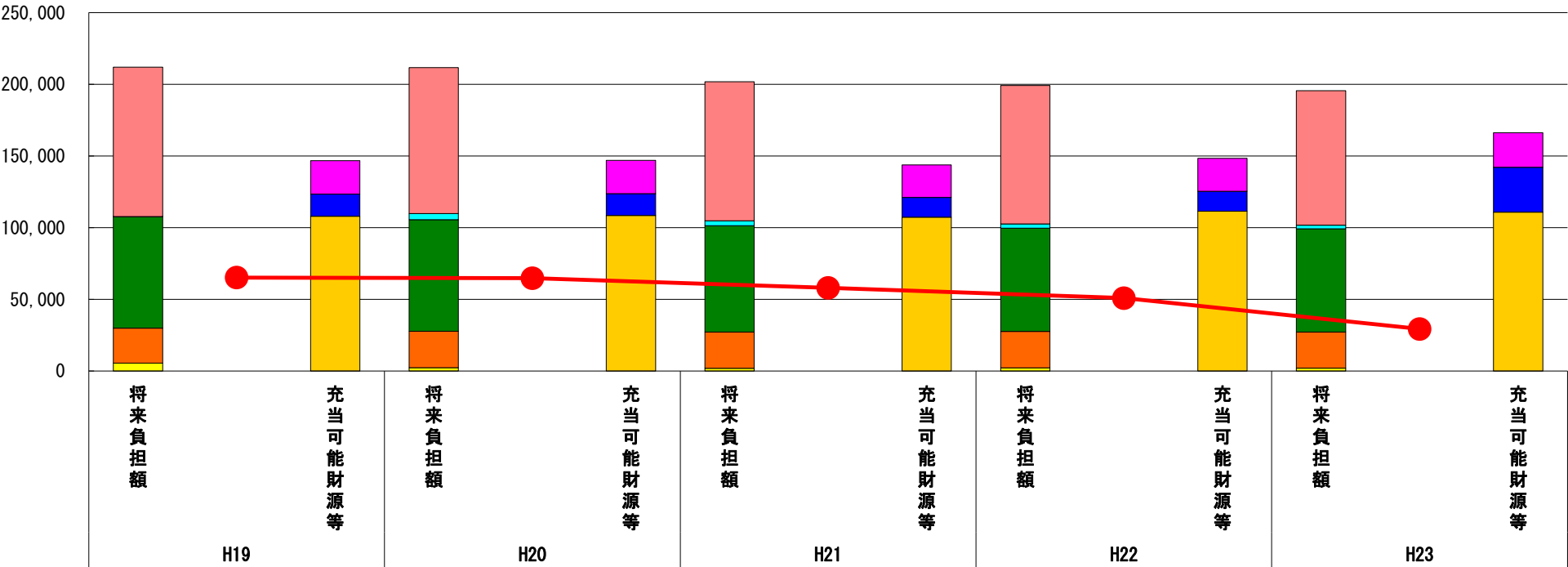
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県津市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		104,239	101,781	96,966	96,554	93,780
	債務負担行為に基づく支出予定額		11	4,314	3,412	3,001	2,532
	公営企業債等繰入見込額		77,776	77,826	74,112	72,001	72,002
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		24,376	25,318	25,331	25,343	25,260
	設立法人等の負債額等負担見込額		5,561	2,392	1,913	2,275	1,989
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		23,305	23,158	22,665	22,934	24,120
	充当可能特定歳入		15,418	15,226	13,713	13,962	31,273
	基準財政需要額算入見込額		108,011	108,503	107,347	111,441	110,853
(A) - (B)		将来負担比率の分子	65,229	64,745	58,009	50,837	29,316

分析欄

津市では、合併以後市債発行を元利償還金の範囲内に抑えてきていることから、分子の主要な構成要素である地方債の現在高が着実に減少してきています。

一方で、下水道事業を中心とした公営企業債等繰入見込額は750億円前後、職員の退職手当負担見込額は250億円前後で推移しており、地方債現在高以外にも合わせて1,000億円近い将来負担があることを念頭に置いた財政運営を行っていく必要があります。

これらの将来負担に備え、財政調整基金を中心とした充当可能基金を200億円を超える水準で確保していること、地方債残高の構成を臨時財政対策債、合併特例債など交付税算入率の高いものに切り替え、分子から控除される基準財政需要額算入見込額も1,000億円を超える水準で確保してきていること、平成23年度から一部の未課税地域への都市計画税課税が開始されたことによる充当可能特定歳入が増加したこともあり、将来負担の分子は毎年度着実に減少しています。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。